

取組名称	地域と共に「子どもたちや地球の未来を想いやる日常を“DESIGN”する」店 【Panndry パンとランドリー】			団体設立後の経過年数	13年
応募取組主体名称	Panndry パンとランドリー	活動地域	大阪市平野区	応募取組の活動年数	3年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する 実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動の平衡賞				



取組の要旨

香害（化学物質過敏症含む）問題やマイクロカプセル（一次マイクロプラスチック）問題の発信および解決に取り組み、天然由来成分を使った環境配慮型の人にも環境にもやさしい洗剤を導入し、店頭にて量り売りにて販売も行い、使い捨てプラスチック削減をお客様と一緒に取り組んでいる。また、地域の人たちが集まりやすくするために定期的にイベントを開催している。

実績の要旨

2022年：グッドデザイン賞 受賞
2024年：SDGsビジネスマッチングイベント BEYOND OSAKA ブース出展、コインランドリー店アワード2024 最優秀賞受賞
2025年：サステナブルセレクション 一つ星受賞

地域の 課題の 解決	環境への貢献	環境配慮型洗剤を使用・販売することや洗剤の量り売りによる容器ごみの削減によって環境汚染問題の解決に取り組んでいる。
	社会・経済への貢献	接客などで「香害問題」などの問題についての情報を発信することで、お客様自身で日常的に安全・安心な選択ができるよう心がけている。
	地域資源の活用	家具や建材に大阪産河内杉を使用していることや地元近辺で獲れた農産・化学肥料不使用野菜や果物の販売によって地産地消を促進している。
	普及・汎用性	苦しむ人が増えている「香害問題」や「マイクロカプセルによる環境汚染問題」に全国的に注目してもらうためのモデル店舗となる。
	革新・ユニーク性	パン屋を併設することで、コインランドリーでの有人接客対応が可能になり、様々な情報提供が可能となる独自のスタイルを確立できている。
	継続性	日常的な消耗品である洗剤が継続的に購買され続けることによるストックビジネスによって経営の安全性が保たれる。

展望の要旨

現在取り扱っている洗剤の製造企業との連携による、合成香料やマイクロカプセルを含まず、界面活性剤の使用量が少ないオリジナル洗剤の製造に挑戦する。